学校法人 東京聖徳学園

■聖徳大学大学院
■聖徳大学教職大学院
■聖徳大学
■聖徳大学短期大学部
■聖徳大学幼児教育専門学校
■聖徳大学附属女子高等学校
■聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
■聖徳大学附属女子中学校
■聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
■聖徳大学附属小学校
■聖徳大学附属幼稚園
■聖徳大学附属第二幼稚園
■聖徳大学附属成田幼稚園
■聖徳大学附属浦安幼稚園
■聖徳学園三田幼稚園
■聖徳学園八王子中央幼稚園
■聖徳学園多摩中央幼稚園

聖徳フラッシュ

SEITOKU FLASH

聖徳フラッシュ 第67号 平成25年8月1日

発行 学校法人 東京聖徳学園 〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ http://www.seitoku.jp/

児童学科二年・相澤めぐみさん ダブルダッチで世界三連覇!!

トロフィーを手にする相澤めぐみさん（左から2人目）

第四十回ADDL（アメリカン・ダブルダッチ・リーグ）世界選手権が、六月十三日（木）から十五日（土）にかけて米国サウスカロライナ州で行われ、児童学部児童学科幼稚園教員養成コース二年の相澤めぐみさんが所属するチーム「DIANA」が、オープン部門で総合優勝を果たしました。

ダブルダッチは、二本の縄を使い、向かい合ったターナーと呼ばれる二人の回し手が縄を内側に回し、その中でジャンパーが技を交えながら跳ぶ、縄跳び競技です。結成七年目となるDIANAのメンバーは四人で、平成二十三年一月の「ダブルダッチ・ジャパン・オープン」で日本新記録を樹立し、世界選手権出場権を獲得。同年六月の第三十八回ADDL世界選手権で高校生部門シングルス・ダブルス優勝、スピード部門シングルス・ダブルス優勝、総合シングルス・ダブルス優勝と大躍進を遂げ、翌年も高校生部門で優勝しました。

今大会には相澤さんを含む三人が出場し、見事世界三連覇を成し遂げるという圧倒的な強さを見せつけました。また、二分間の跳躍回数を競うスピード部門では、四百二十六回という世界新記録も打ち出しました。相澤さんは主にターナーを務め、「次の目標はギネス世界記録にも挑戦すること」と意気込んでいます。

聖徳大学附属女子中学校・高等学校 「創立三十周年記念式典」挙行

全校生徒による合唱

六月七日（金）、聖徳大学附属女子中学校・高等学校創立三十周年記念式典を挙行しました。当日は六百名を超える来場者を迎え、盛大な式典となりました。

多くの来賓の方々に、生徒の生き生きとした姿と卒業生の活躍を見ていただこうというコンセプトを掲げ、吹奏楽・管弦楽・合唱団による想園歌の開幕前演奏、吹奏楽部のパフォーマンス「ジブリメドレー」、ダンス部による創作ダンス「Born to smile」、そしてフィナーレには、聖徳祭の歌「輝く絆」の全校生徒による合唱を披露しました。

生徒たちは式典の中だけではなく、会場設営、校舎内外の誘導など、運営に欠くことのできない役割を進んでこなしました。日ごろ、礼法で学んでいる「和の精神」と「温かいおもてなしの心」が表れていました。来場者の控室には、生徒全員が一人ひとり緑色の絵具で手形を押し、そこに自分の好きな漢字を書き込んで大樹を表した「香昭樹（創立者・川並香順先生と前学園長・川並弘昭先生の名前から）」と名付けられた作品も展示しました。

式典の前の除幕式

また、三十周年を記念していくつかの事業を実施しました。特別棟のWi-Fiアクセスポイント設備や生徒が自由に使えるオープンスペースのPC設置、化粧室の改修などハード面の充実とともに、彫刻家・雨宮敬子先生作の川並弘昭先生の胸像が設置されました。

弘昭先生は学園創立五十周年の年に、建学の精神「和」を受け継ぐ新しい女子教育を目指し、中学校・高等学校を松戸市秋山に開校し、初代校長を務められました。先生にはこの生徒玄関で、これからも幾久しく生徒たちを見守っていただきたいと思います。

よりしなやかに、未来へ

80th SEITOKU

INDEX

学園 ―― 1・2
大学院・大学・短大 ―― 1・2・3・4
幼児教育専門学校 ―― 4
附属女子中・高 ―― 1・4
取手聖徳女子中・高 ―― 4・5
小学校 ―― 5
幼稚園 ―― 6・7
インフォメーション ―― 8

より豊かな未来に向け ISO認証を更新

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

その後も、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成21年2月に認証を更新しました。

国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO9001
（教育の質マネジメントシステム）

ISO14001
（環境マネジメントシステム）

ご意見／ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報誌です。本紙に関するご意見・ご感想を下記サイトにて受け付けております。
http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

松戸のマンパワーが集結 「アートパーク6～みんな子ども宣言～」開催

ピカソチックで絵具遊び

七月七日（日）、松戸中央公園で「アートパーク6～みんな子ども宣言～」（主催／聖徳大学児童学研究所、生涯学習研究所）が開催されました。『みんな子ども宣言』は、アートパークに集まるすべての人（子ども、学生、大人ら）が子どもの時間や気持ちを共有することで、新たな「学びの場」を創造することがねらいです。

当日は、猛暑にもかかわらず過去最高の千百九十二名の親子が集まり、公園のさまざまな場所を生かした八つのワークショップを一日楽しみました。今回で六回目となるアートパークは、松戸市のみならず、東京や埼玉からの参加者もありました。

昨年同様、児童学科のゼミ等と、地域団体（まつど子育てさぽーとハーモニー、松戸まちづくり会議、アトリエミルクル、KEYAKIDS―ケヤキッズ、クリエイティブまつど工房）が、企画・運営を行いました。

ワークショップは、大量の段ボールで作った「ピカソチック」での絵具遊び（大成ゼミ）、木漏れ日のある空間を生かした「こもれびすいぞくかん（柴山ゼミ）」、スライム遊び（細戸ゼミ）、新聞紙等で帽子を作る「いかれ帽子屋（野上ゼミ）」、「KEYA-KIDSからの発案を園児や学生らと具現化した「おかしな家（保育科有志）」などがありました。さらに、造形教室ミルクルと美術部はパレードを行いました。

クルクル象バスパレード

聖徳大学×くまざわ書店 コラボ企画 七夕絵本の読み聞かせ in アトレ松戸

七月六日（土）、アテレコ研究部が絵本の読み聞かせを行いました。

アトレ松戸３階「いろどりステージ」にて

このイベントは、アトレ松戸にある「くまざわ書店」と聖徳大学のコラボ企画として開催され、午後二時と四時の二回、各三十分、子どもたちの前で絵本と紙芝居の読み聞かせを行いました。

お客さまより「面白かった」「二回とも観に来ました」「通りがかりでしたが、聴き入ってしまいました」という感想をいただきました。

同窓会連合会「聖徳学園菊水会」

第十一回評議員会開催

第11回評議員会(10号館11階会議室にて)

六月一日(土)、聖徳大学十号館(生涯学習社会貢献センター)にて、聖徳学園菊水会第十一回評議員会が開催されました。開会にあたり、川並知子名誉会長から、「人の輪(和)が急激に大きくなり、人間関係が希薄になりがちだが、年月を積み重ねて育ってきたこの同窓連合会がさらに発展していけるよう、しっかりと地盤を固めてほしい」とあいさつがありました。

続いて川並弘純会長は、「聖徳学園ならびに聖徳学園三田幼稚園は創立八十周年、附属女子中学校・高等学校は三十周年、そして学園創立七十周年を記念して創設したこの菊水会も十周年を迎えた。多くの記念すべき年の始まりである」とあいさつし、「大学・短期大学部においては、過去に入学者数が減少した年もあったが、現在では児童学部も六百名の定員に戻り、活気づいている。学園内部のみならず、外部から応援してくださっている卒業生の皆さまのおかげだと思っている」と謝意を述べました。

会議では、平成二十四年度収支決算・事業報告、平成二十五年度収支予算・事業計画の協議が行われ、本年度の事業計画は、学園創立八十周年に伴う学生・生徒・児童への支援寄付、聖徳学園菊水会ハワイ研修旅行、卒業生への記念品贈呈、各同窓会イベントにおけるクリアファイルの配布等が承認されました。

今後も、同窓生が生き生きと社会で活躍できるよう、支援活動を続けてまいります。皆さまのご協力とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

聖徳学園菊水会ホームページ
http://www.seitoku.jp/dosorengokai

ぜひアクセスしてください!!

第二回学内合同企業就職説明会 in 聖徳大学

六月二十八日(金)、「第二回学内合同企業就職説明会in聖徳大学」を一号館メディアラウンジにて開催しました。アベノミクス効果で若干景気が上向きのようですが、就職活動戦線はまだまだ厳しい状況が続いています。この説明会は、中堅・中小企業への就職活動を積極的に行っていく上で、企業と学生の出会いを一つでも多く取り持つことを目的としたものです。

当日は、企業二十社とまつど新卒応援ハローワークの参加があり、大学四年生・短大部二年生の学生が熱心に説明を聞きました。企業の方からは、真面目で素直な学生が多いとの言葉がありました。学生はこの説明会をきっかけに今まで知らなかった業種へも視野を広げ、内定獲得を目指します。

現在、キャリア支援室では、八名のスタッフと一名のキャリアカウンセラーが個別就職支援を強化しています。

ブースに分かれ、真剣にメモをとる学生たち

聖徳ラーニングデザインセンターだより

急がば学べ ― 学習法の点検を!

聖徳ラーニングデザインセンターでは、「自立するチカラ」を育むため、学習法に関するセミナーを開催しています。学生の皆さんは、教員、栄養士、保育士、演奏家、カウンセラー、ビジネスパーソンなど、それぞれのプロフェッショナルを目指して、日々研鑽を積まれていると思います。

しかし、学生の皆さんの学び方は、果たして、効果的・目的的なものとなっているでしょうか。当センターでは、個別の学習アドバイスのほか、学習法に関わる各種のセミナーも開催しています。テーマはご覧のとおり、学習法全般に関わるもので、自らの学習法を見直したり、新たな学習法に気づいてもらうことを目的として開催しています。つまり、これまでの学習法を振り返る、いわば「学習点検の場」としても活用していただきたいと思っています。

学習は個人で行うことが多く、どうしても自己流になってしまいます。他の人がどのような工夫をしているのかなどを知ることは、自分の学習にも幅を持たせることができます。学習は一人で行うことが多いですが、学習法はいろいろな人の手法を知っておくとよいでしょう。「急がば学べ」というつもりで、学びの幅を広げて、自分の学習法、および卒業後のキャリアをデザインしていきましょう。

〈「学習の基本シリーズ」これまでのセミナーテーマ〉

回数	テーマ
第1回	大学生としてのノートテイク ―あなたのノートは大丈夫!?
第2回	上手な時間の作り方 ―1日を30時間にしてみませんか!!
第3回	役立つ文具大紹介 ―勉強方法を見直しませんか
第4回	ゼロからわかるレポートの書き方 ―評価されるレポートとは

第4回のセミナーの様子

語学教育センターだより

語学教育センターにゲストスピーカー!

聖徳大学1号館4階にある語学教育センター(Language Education Center: LEC)では、6、7月と楽しい学習イベントを行いました。6月10日(月)には、松戸市文化大使のリチャード・シュワーツさんをゲストスピーカーに迎え、アメリカ文化をスライドで紹介していただきました。また、持参のギターの伴奏で参加者全員が英語の歌を練習し、30名の参加者がお弁当を食べながら楽しいひとときを過ごしました。

松戸市文化大使のリチャード・シュワーツさん

7月は七夕を祝って「英語で短冊を書いてみよう!」キャンペーンを行い、40名以上の学生がそれぞれの希望や夢を英語で短冊に書いて、笹に飾ってくれました。中には「強くて、優しい人になりたい(I want to be a strong and kind person.)」と書いた学生も。

LECは夏休みの間(8月5日(月)~9月19日(木))は、週3日、月・水・金の11:00~16:00)もオープンしており、英語レッスン、英語に関する相談などもすべて無料で行っています。

LECのサービスについて詳しく知りたい方は、いつでもご連絡ください。
TEL: **047-365-1111**(内線:4044)

教職実践センターだより

ようこそ先輩!「第六回教育経験者懇談会」

六月八日(土)、聖徳大学を卒業し、学校現場で活躍している現職の先生方を迎え、今年も「ようこそ先輩!教職経験者懇談会」を開催しました。会の冒頭には、川並弘純学長、増井三夫副学長、仲瀬律久児童学部長から激励の言葉がありました。

当日は、遠くは札幌をはじめ三十余名の現職の先生方が参加してくださり、大学一年から四年までの将来教員を目指す学生を前に、現場の充実感や課題、教員採用試験に向けての努力等を情熱的に語ってくれました。

特に、会の後半に行われた地区別懇談会では、一カ月後に採用試験を控えている四年生が先輩の話にメモをとりながら真剣に傾聴し質問する等、「先輩のようになりたい」と教師への夢を強くしたようです。

現職の卒業生を囲んで地区別懇談会

教育実践センターは、今後も一人でも多くの立派な教育者を輩出できるよう学生指導に邁進してまいります。

聖徳大学陸上競技部 監督の部屋 ②

人間栄養学科1年・菅生さん「関東陸上競技選手権大会」出場権獲得!

菅生選手(右)

6月22日(土)に千葉県総合スポーツセンター陸上競技場において、「第66回千葉県陸上競技選手権大会」が開催されました。本学からは、菅生晶子(人間栄養学部人間栄養学科1年)が10000mに出場し、4位に入賞しました。

これにより、8月23日(金)に山梨県甲府市で開催される「第86回関東陸上競技選手権大会」の出場権を獲得しました。例年、開催時期の甲府市は猛暑となるため、厳しい戦いが予想されますが、昨年、菅生選手は本大会で優勝をしており、今年も万全を期して2連覇に臨みます。

『備えを以って時を待ち、時を以って事を興す』

この他の陸上競技部の主な大会出場予定は下記のとおりです。

9月15日(日)・16日(月・祝)
第24回 関東学生新人陸上競技選手権大会
場所:国立競技場
種目:1500m・3000m

9月29日(日)
第19回 関東大学女子駅伝対校選手権大会
場所:印西市千葉ニュータウン周回コース
区間:6区間(30.6km)
スタート時間:9:30(東京電機大学)

ぜひ現地にご足労いただき、聖徳乙女たちに熱きご声援をよろしくお願いいたします。
大会予定・結果等の詳細は随時ホームページで
http://www4.hp-ez.com/hp/seitokuriku/page6

北海道を満喫「学外研修Ⅱ」

5メートルもある昆布に触れました(襟裳岬から登別に向かう車中)

見事に決まったジャンプ(百人浜)

六月中旬、恒例の短期大学部「学外研修Ⅱ(北海道研修)」が、保育科第一部二年生と第二部三年生、総合文化学科二年生、約四百人を対象に実施されました。この研修は、北海道の雄大な自然と独自の文化を体感し、視野を広げることを目的としています。

ライラックの花が満開の札幌をスタートし、旭川、層雲峡、北見、小清水原生花園、美幌峠、摩周湖、十勝川温泉、襟裳岬、登別温泉、小樽などの都市や観光地を訪れました。最初の見学は北海道開拓の村で、夏の強い日差しを受けながら、さまざまな建物を見学し、歴史を感じました。羊ヶ丘展望台では、クラーク博士像を前に同じポーズで記念撮影をする姿が見られました。

広々とした道路や畑、車窓から望む牛や馬、雄大な山々、湖の青など、学生たちは訪れる先々で、素晴らしい北海道の景色を楽しみました。また、北海道のもう一つの楽しみはなんといっても食べ物です。昼間はソフトクリームなどスイーツに飛びつき、夜はホテルの北海道ならではの食材を使った郷土料理、温泉などを堪能しました。

今回の研修は、本物に触れる体験、五感を通した学習となり、そして、クラスの仲間と絆を一層深める旅となりました。

大学・短大学生寮の「パンケーキフェア」

6月30日(日)、学生寮でパンケーキフェアを開催しました。これは朝食バイキングの一貫で、なんとパンケーキ・フルーツ・ホイップクリーム・チョコクリームが食べ放題!

今はやりのパンケーキに寮生たちは大喜びでした。寮生たちは、それぞれ好きなようにパンケーキをデコレーションしていました。

7月には、毎年大好評の「夏祭り」が開催されました。やきそばやフランクフルトなどが登場しました。

初体験のボウリング

六月二十一日(金)、聖徳大学・聖徳大学大学院の留学生を迎え、「留学生フレンドシップパーティー」が開催されました。フレンドシップパーティーは留学生、日本人学生、教職員が互いに交流を深めていく行事です。

今回は、常盤平駅前にあるボウリング場にて、留学生が日本人学生や教職員とチームを組み、ゲームを行いました。今年度は中国、韓国、インドネシアなど国籍が多様になりましたが、日本以外のアジアではボウリングの文化がほとんどないため、新入留学生は全員が未経験者でした。

そのためボールの持ち方もわからない学生ばかりでしたが、先輩の留学生や教員にボールの選び方やルールを教わりながら、だんだんとコツをつかみ、二ゲームが終わるころには「またボウリングをしたい!」とすっかり気に入ったようでした。一位の日本人学生の成田水月さん(児童学科二年)には豪華景品が、他の学生には参加賞がプレゼントされました。

昨年に続き実施したボウリングは、今年も大好評!

研究所リレー連載 所長の伝言板 第21回 聖徳大学言語文化研究所

言語文化研究所、今年度の企画

所長 林 史典

言語文化研究所は、今年度、次の三企画に重きを置いた活動を展開します。その一つは、大学生・短大生のための講演会です。これまで研究所の企画は、そのほとんどが一般市民、教員・研究者を主な対象としたものでした。しかし、研究所が提供できる知的財産には学生の学修に役立つものが少なくありません。そこで、今年度から学生向けの企画を実行していくことにしました。

第一回目は七月十一日(木)に、所長の私が企業へ就職を希望する人を対象に「現代社会が必要とする日本語力」という話をしました。

十月~十二月には「新聞とことば」をテーマにして三回連続の講演会を行います。十月五日(土)は、日本経済新聞社の小林肇氏による「新聞ができるまで—校閲の仕事—」、十一月三十日(土)は、読売新聞東京本社の関根健一氏による「報道のことばと表現」、十二月七日(土)は、朝日新聞東京本社の前田安正氏による「世相を映すことば」という講演を予定しています。

なお、昨年度に続く国際比較言語文化論シンポジウムは、来年二月に行うことになっています。

人間栄養学部 管理栄養士を目指す学生の「臨地実習」がスタート

管理栄養士の資格を取得するためには、「臨地実習」(学外実習)が必修となっています。人間栄養学部の三年生は、六月に二週間の日程で、保育園・幼稚園、学校、事業所(社員食堂)、高齢者施設などの給食施設において管理栄養士の指導の下で実習を行います。

実習内容は、給食運営に必要な献立の作成、調理作業、食数管理と配膳などの基本的業務です。さらに、専門的業務として調理作業の分析、調理従事者への衛生教育、食材料の重点管理、喫食者訪問なども行います。

実習の目的は、実践活動の場での課題発見(気づき)・問題解決を通して、専門的知識と技術の統合を図り、管理栄養士として備えるべき知識と技能を修得することです。

各実習施設の巡回訪問では、学生の生き生きとした表情で真摯に取り組んでいる様子がうかがえます。この実習がきっかけで、今まであまり興味がなかった職域を就職先として考える学生も少なくありません。八月からは病院での二週間の実習が始まります。臨地実習は学生にとって、管理栄養士に必要な実践力の修得とともに、将来の進路を決めるうえで重要な位置づけとなっています。

実際に学生が実習先(保育園)で考えた献立
(タコライス、れんこんツナサラダ、オクラコンソメスープ)

楽習フェスタ2013 「第十五回 生涯学習フォーラム」「まつどおしごとデパート」大盛況!

聖徳大学生涯学習研究所は、六月二十二日(土)、二十三日(日)の二日間にわたり、地域と大学との交流および学生と地元企業の協働の機会を創出することを目的に、「聖徳大学楽習フェスタ2013—第十五回生涯学習フォーラム・まつどおしごとデパート」を開催しました。

講演する明石要一先生

二十三日に行った生涯学習フォーラムは、「人が変わる。地域が輝く。~生涯学習の未来を語ろう~」をテーマに掲げ、明石要一千葉大学名誉教授による「子どもに多様な体験をさせよう~ガリ勉じゃなかった人はなぜ高学歴・高収入で異性にモテるのか~」と題した記念講演を実施しました。続いて、「市民と共にまちづくり」「女性とまちづくり」「子育てタウン~地域体験で親子が育つまちづくり~」「音楽と福祉のまちづくり」の四つの分科会に分かれ、専門家と参加者が熱心に意見を交えました。

また、昨年に本学十号館で開催し、大盛況だった子どもの職業体験イベント「おしごとデパート」を、今年は伊勢丹松戸店に場を移して実施しました。二日間ともに、長蛇の列ができるほどのにぎわいを見せ、約三千五百人(うち子どもは約千五百人)の来場者を迎えました。子どもたちにリアルな職業体験を提供することを目的に、百貨店のみならず、地元企業に協力いただき、さまざまなブースを設置しました。テレビ局員、郵便局員、デパートガールをはじめ、警察官、消防署員、職人などに変身した子どもたちの一所懸命な姿に、一般客も顔をほころばせていました。

スーパーマーケットでの試食販売を体験

本事業は本学児童学科の神谷明宏准教授と齊藤ゆか准教授が指導にあたり、児童学科および生涯教育文化学科の学生ボランティアが約百名、企業・行政参加者が約四十名、本学職員十名に伊勢丹従業員を加えた、まさに産学官連携事業となりました。

人間栄養学科・総合文化学科「ベーカリー素材EXPO 洋菓子素材EXPO」に出展

五月十五日(水)から十七日(金)の間、東京ビッグサイトにおいて、「第二回ベーカリー素材EXPO・第一回洋菓子素材EXPO」が開催され、人間栄養学部人間栄養学科、短期大学部総合文化学科が出展しました。

このEXPOは、パン、洋菓子の素材、酵母、包装資材、製造装置などの専門展示会で、本学は日ごろの研究や地元企業等と連携して行っている取り組みの成果を発表しました。

人間栄養学科は、吉田真美ゼミと林徹ゼミが研究成果の発表を行いました。吉田ゼミは、「豆類を材料にした洋菓子の試作」と題した発表を行い、学生が研究内容を説明しました。同時に、本学の調理実習室で調理したピーナッツバタークッキー、ヒヨコ豆のケーキ、黒豆ブラウニーを試食用として提供しました。

林ゼミは、「糊化澱粉がなければ米粉パンは美味しくない」と題した発表を行いました。「小麦粉の一部を炊飯米で置換した"ごはんパン"の美味しさには、炊飯時に糊化した澱粉の存在が大きく寄与している」という研究内容や成果を学生が説明しました。

聖徳大学のブース

総合文化学科は、地域の企業等と連携し、千葉県内の食材を用いて弁当やメロンパンなどを開発した「千産千商」の取り組みと、社会に出るための仕事力を養成する授業の紹介、製菓ブランチの学生が作った焼き菓子と苺ジャム、メロンパン等を展示しました。

また、来場された方には、「SEITOKUクッキー」を配布しました。

三日間で本学ブースへの来場者は千五百名を超えました。そして、本学の教育・研究内容に関心を持った多くの企業関係者から、共同研究や連携についてのお話をいただくとともに、求人の依頼も数社からあり、学生の就職活動にも役立つなど、今後の発展につながる大変貴重な機会となりました。

大学教員によるリレーエッセイ　研究室から　第16回

カザンでのユニバシアード競技大会

永井 純

学生のオリンピックといわれる「第二十七回ユニバシアード競技大会」が、七月上旬にロシア連邦タタールスタン共和国の首都カザン市で開催されました。私はJOCのユニバシアード委員を務めている関係で、陸上競技日本代表選手団役員の役目を仰せつかり、監督・コーチの相談役として参加してきました。これまで、競技者・指導者として世界の多くの国々を訪問しましたが、ロシアは今回が初めてでした。

カザン・クレムリンにて

カザンの地図

◆世界の学生の陸上競技は、アメリカ・ロシア・中国・日本が中心で、メダルはその四カ国が分け合っている状態です。ユニバシアード競技大会はJOCのオリンピック・ムーブメントの一環で、日本は毎回最強チームを編成し、送り出しています。今回は地元ロシアが最強チームで臨んできました。

◆アメリカ・中国は政治的事情か不明ですが、有力選手は少数で、結局ロシアと日本の戦いの様相でした。結果は、金メダル三個、銀メダル四個、銅メダル五個を獲得し、八位以内の入賞も数多くありました。特に、八月にモスクワで開催される世界陸上に選ばれている選手の活躍が目立ちました。次回は二年後に台湾の台北で開催される予定です。日本は台湾でも十分戦える目途は立っています。

◆カザンはモスクワから東南八〇〇kmに位置し、どちらかというとカザフスタン共和国に近く、中央アジアの風土のように感じました。緯度的には北海道より北にあり、寒く長い冬と、乾燥した白夜の夏があります。競技場のすぐ近くには、ユネスコ世界遺産の「カザン・クレムリン」がありました。通貨はルーブルで、換金できるのはユーロかUSドルのみで円はまったく使えません。

◆日本からカザンに行くためには、モスクワにアエロフロートの直行便で行き、数時間待ってカザン行きに乗り換えるというものでした。帰りもモスクワで七時間待たされ、やっと成田に降り立ち、長い十日間の旅が終わりました。

(本学児童学部教授・専門分野は体育・スポーツコーチ学)

幼児教育専門学校

一部二年生 夢の実現に向けて二回目の保育実習

五月二十七日(月)より六月八日(土)まで、保育科第一部二年生は二回目の保育実習を実施しました。この実習は、今まで机上で積み上げてきた学びを保育現場にて実践し、保育士としての学びを深めることを目的としています。子どもの発達、保育士の言葉かけや援助、さらには家庭や地域における保育の現状を学び、さまざまな状況に応じた判断力や理解力を身につけること等を一人ひとりが目標とし、心と体をフル回転させながら実習をする二週間となります。

また、部分実習や責任実習など、一年生の保育実習では経験できなかったことをこの実習で経験します。事前の学習や準備を基盤として、年齢に合った計画を立て、実践し、先生方と一緒に振り返り、反省する機会を得ることができるため、保育の素晴らしさや難しさ、奥深さを実感し、子どもの魅力を再発見することのできる貴重な機会となります。

学生たちは、保育所の役割を肌で感じ取り、そのために必要な保育者としての資質を学びとるため、日々努力しています。

附属女子中学校・高等学校

第二十八回合唱祭を終えて

六月二日(日)、附属女子中高第一体育室にて第二十八回合唱祭が開催されました。今年度も生徒の意気込みは並々ならぬものがありました。昨年は、合唱祭が終了直後に次年度の曲目を考えるクラスもありました。

今回は、創立三十周年記念行事が六月七日(金)に控えていることもあり、その準備と合唱祭練習が平行して行われ、生徒は練習時間の確保に苦慮していました。また、高校三年生は合唱祭本番の二日前に校外学習から戻るという過密スケジュールでもあり、集中力を高めることに苦心しました。

聖徳大学からは、音楽学部の八杉忠利演奏学科長、山本真同学科長補佐に加え、「マイバラード」の作曲者である松井孝夫音楽総合学科准教授が審査に加わりました。

「歌声の響く学園」の伝統が生かされました

偶然、プログラム一番は二年B組の「マイバラード」の合唱で始まりました。明るくさわやかな歌声でバランスもよく、一番手のプレッシャーをはねのけ、見事な合唱を披露しました。この合唱に刺激され、後に続くすべてのクラスの発表はとても見事でした。

川並芳純校長の開会式での話のように、「the spirit of harmony」がすべての発表に生かされた合唱祭となりました。

取手聖徳女子中学校・高等学校

「伸び率ナンバーワン!」の秘密とは ぜひオープンスクールへ

取手聖徳女子中学校・高等学校では、「学力伸長」と「女子教育」の成果(卒業生に対する国公立大学および難関私立大学の合格者比率は、ここ数年加速度的に伸び続けており、平成二十五年度は、二十五%(三年間で約四倍)で過去最高となる記録を達成するとともに、理系比率が増加するなど進路の拡充、多様化が大きく評価され、中学は二年連続、高校は四年連続で入学者が増えています。そこで、今年も「伸び率ナンバーワン!の秘密を探る」をテーマにオープンスクールを開催します。

本イベントでは、取手聖徳の教育力を生かし、実際に近い形での授業体験をはじめ、部活体験・見学、食堂での会食体験を実施。施設見学、寮見学、独自の学習支援システム(中学・個別プリント学習、高校・WEB学習)体験、制服試着&記念撮影などもできます。さらに、教職員との個別相談の他、在校生や在校生の保護者とのフリートーク(教職員は同席しません)もご用意。

授業体験講座は、中学では「スライム時計をつくろう(理科)」「Let's Experience Ibunka Class(英語)」「小学生にも解ける大学入試(数学)」など。高校では「徒然草を読む(国語)」「無理数トランプゲーム(数学)」「ピラミッドの謎を探る(社会)」など。講座内容は実施日程でそれぞれ異なりますので、ホームページでご確認ください。

いずれも午前10時開始、取手駅・守谷駅から無料送迎バス運行(車でのご来校も可)。

取手聖徳女子中学校・高等学校ホームページ
http://www.seitoku.jp/toride/

取手聖徳女子中学校三年 浦野りょうさん
「スマイルとうほくプロジェクト」に茨城県代表として参加

六月二十九日(土)、共同通信社との合同復興支援プロジェクト「スマイルとうほくプロジェクト」が、岩手県一関市・陸前高田市において実施され、中学三年生の浦野りょうさんが茨城県の代表として参加しました。

このプロジェクトは、「東北に笑顔を広げ、その笑顔を日本中に届ける」というコンセプトのもと、東北の三つの新聞社が手を取り合って被災地に笑顔を広げ、日本中に東北の元気を発信していく運動です。

復興が道半ばである中、これからの未来を担う日本各地の中学生が被災地を訪問し、写真と文字を通して被災地の『いま』をレポートすることで何かを感じ、戻っていくことを目的としています。

浦野さんの報告（一部抜粋）を紹介します。

未来につなぐ記憶のバトン

震災から二年が過ぎた六月、私は「スマイルとうほくプロジェクト」のメンバーとして取材のために岩手県陸前高田市を訪れました。このプロジェクトに参加することが決まった時、きちんと役割を果たせるか不安になり、少しでも東北の現状を知るために震災関係の本を探してみました。すると、どの書店でもほんの数冊しか取り扱っておらず、なんだか少し寂しい気持ちになりました。

六月二十八日、取材に向けた事前打ち合わせをするため、全国から五名の中学生が集まりました。最初は緊張しましたが、同じ目的を持つ仲間同士すぐに打ち解けることができました。取材での質問について打ち合わせた時に、「ボランティアの活動状況を聞きたい」「当時の気持ちや、今は復興に向けてどのように頑張っているかを聞きたい」などさまざまな意見があり、自分とは違った視点があることに気付かされました。そして、出発の時に長野校長先生からいただいた「被災地の様子をよく見てきてください。そして広く発信してください。その発信を受け取った多くの人が被災地に思いを寄せるでしょう」という言葉を思い出しました。「同じものを見てもそれぞれ人の感じ方は違うもの。だから、自分の言葉で素直に表現すること、発信することが大切なのだ。自信を持って自分ができることを精いっぱいやりきろう」と決心しました。取材当日は、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんとナビゲーター役のロザン宇治原さんが同行し、風化問題やコミュニティーの大切さについて、私たちと一緒に考えてくださいました。

取材に臨む浦野さん

私が一番印象に残った取材は、「NPO法人桜ライン311」です。この活動は、津波の到達ラインに沿って桜の木を植えるというもので、震災から八ケ月が経った二〇一一年十一月に初めて植えられたという桜の木の場所に案内してもらいました。海岸から二キロメートル以上も離れているその場所からは、海は見えませんでした。本当にこんなに遠くまで津波が押し寄せてきたのだろうか。どうしても現実を受け入れられずにいると、すぐ横にある浄土寺という寺の壁が下半分だけ新しく改装されていることに気が付きました。津波の痕跡を目の前にして、改めて自然災害の恐ろしさを痛感しました。

家で見ていたテレビの映像では、大変危険な印象だった区域も、実際にその場に立ってみると安全な場所に感じます。もしあの日、私がここにいたら急いで避難することができただろうか。おそらくできなかったと思います。私は今まで、なぜ大勢の人が逃げ遅れてしまったのか疑問に思っていました。逃げることなんて簡単じゃないかとも思っていました。でも陸前高田市を訪れて、自主的に避難することの難しさに気付きました。だからこそ、桜ライン311の岡本さんたちの活動は絶対に必要なことだと感じました。今後大津波が起こっても、桜並木を目印に大勢の人が避難できるはずだからです。

メンバーの集合写真（後列左から2人目が浦野さん）

しかし、岡本さんから防災には「風化」という問題もあることを教えていただきました。実は三陸海岸では過去に二度、今回と同規模の津波があったそうです。体験した私たちのご先祖様は、岡本さんたちと同じように津波の到達地点に石碑を立ててくれていました。七十八年の月日が流れ、人々の記憶が次第に薄れ、ほとんどの人にそのメッセージは伝わっていなかったのです。この話を知り、私は今年八十歳になる祖母に昭和三陸地震を知っているか聞いてみましたが、「知らない」という答えが返ってきました。もちろん母も私も知りません。情報は語り継いでいかないと風化し、途絶えてしまうのです。日ごろから高い防災意識を持ち、先祖からの教訓を大切に守り続けた人々の住む村では、全員が無事だったそうです。七十八年前のメッセージが届き、村人たちの命を救ったのです。

危機意識を持ち続けるということは、一見簡単そうなようで、実はとても難しいことです。しかし、東北の人たちは東日本大震災の記憶が、人々の中から姿を消さないように桜ラインを作ったり、奇跡の一本松を残したり、語り部をするなど、防災を伝えようという町づくりに励んでいます。ならば、私たちにも何かができるはずです。今は、鮮明に覚えている三月十一日の記憶や、震災に対する防災意識も時とともに薄れていきます。たとえ辛いことでも、風化させないためには、自分ひとりの中だけで留めておくのではなく、積極的に次の世代に伝えていくべきです。「伝える」という使命感を持つことで、私たち自身も震災を意識しながら生活できるのだと思います。あの日のような震災は、決して他人事ではありません。だからこそ、教訓を受け継ぎ、体験したことのないような震災にあった時でも被害を少なくできるはずです。

また私は、実際に東北へ行くことで、映像や言葉では伝えきれない、津波の本当の怖さや被災地での前向きに生きる人の姿と思いに触れ、現実をより強く心に残すことができました。だから、言葉で伝えることに加え、積極的に東北を訪れ、自分の眼で見ることも大切だと分かりました。

自分の命、たくさんの人の命を守るために、未来の人たちに記憶というバトンをつなげていくこと。これが、今生きている私たちの使命だと思います。

附属小学校
第二十八回 望月校外学習

本校では一年生から六年生までの全学年が、長野県佐久市にある聖徳学園セミナーハウス「かすがの森」においてさまざまな体験学習を行います。今回は二・五年生、三・四年生、一・六年生の三班に分かれて六月上旬に校外学習を行いました。

自然観察、松本城をはじめとする歴史的建造物の見学、飯盒炊さん、キャンプファイア、そして共同で生活することの難しさと楽しさを体感することで、児童たちの内面が大きく変容していきました。特に六年生ともなると教員が何も言わなくても一年生のお世話を自ら進んで行ってくれました。普段から縦割り班である「明和班」の活動を行っている本校ならではの光景です。

最終日に「この校外学習で何を学んだのか」、その成果を発表する機会を設けました。六年生は、台本を使わずに、頭の中で考えたことを発表していきます。ある児童は、「私は妹と一緒にこの校外学習に参加しました。表情が暗かった妹が、班長さんとのかかわり合いの中で、だんだん明るくなっていきました。これこそが校外学習の成果だと思います」と素晴らしい発表をしてくれました。

自身や仲間たちの変容ぶりに気づき、それを互いに認め合うことで豊かな学びとなりました。

体育館でのキャンドルサービス

わくわくオープンスクールの夏です！

実験あそび

二〇一一年の八月に、初めて行われた「わくわくオープンスクール」。好評につき、翌年から七月と八月の二回の開催となり、今年で三回目の夏を迎えました。「礼法」「実験」「運動」「工作」「入試問題体験」、そして食堂でのおいしいデザート提供から始まったオープンスクールですが、昨年は「英語」「料理」「コンピュータ」、今年は「バルーンアート」「ハンドベル」が加わり、合わせて十のプログラムを開催します。

特に人気なのが、佐藤幸雄校長が自ら教壇に立つ「実験あそび」です。ドライアイスなどを使った実験の楽しさと、校長先生の人柄との相乗効果により、人気ナンバー1を獲得しています。また、入試本番さながらに行われる「入試問題体験」も人気です。

参加者からは「どのプログラムもとても楽しく参加できました。保護者としては『入試問題体験』で本番のような雰囲気を経験できてよかったと思いましたが、子どもは『運動』のプログラムが一番楽しかったようです。先生方が、子ども目線になって話しかけてくださった姿がとてもうれしかったです」「普段体験することのできない礼法を体験ができ、娘はお茶をおかわりするほど楽しく過ごさせていただきました」「温かい先生方にお会いでき、教育方針や施設環境を確認し、改めて、第一志望校として受験したいと思いました」など、うれしい感想が寄せられています。

八月二十五日(日)には、この夏二回目のオープンスクールを開催します。ぜひ親子でご参加ください。本校ホームページより、お申し込みができます。

幼稚園短信

聖徳大学附属幼稚園
父親参観・小運動会

六月一日（土）、お父さまをお迎えして、「父親参観・小運動会」が行われました。

お父さん、だーい好き！

さわやかな天候の下、始めに総園長先生の挨拶、講師の聖徳大学大学院教職研究科准教授・百瀬定雄先生のお話がありました。

園児たちが大学グラウンドに勢揃いし、いよいよ小運動会の始まりです。年長児は手を大きく振り、足を高く上げての行進です。年中児は次第に列の間隔が広くなり、慌てて追いかける様子も見られました。最後に入場するのはこの日で登園三十九日目の年少児。前進するのみでしたが、何とか先生について入場することができました。

百瀬先生による解説で、かけっこ・競技を行いました。礼儀正しく参観するお父さま方へ、「もっと声を出して応援していいですよ」とアナウンスがあると、「〇〇ガンバレ！」「ヨッシャ！」等と急ににぎやかな応援と拍手が起こりました。

最後の親子体操では、身近にあるタオルを使って、運動あそびを取り入れ、楽しく遊ぶことができました。みんなの元気な笑い声と笑顔であふれ、とてもほほ笑ましい光景でした。

今後も喜んで運動あそびができるよう、また、ねらいを達成するための援助方法や「最後までがんばる気持ち」を育てられるよう考えていきます。

聖徳大学附属第二幼稚園
笑顔があふれた生活発表会

六月十一日（火）、附属第二幼稚園で毎年恒例の「生活発表会」が行われました。梅雨に入り、あいにくの雨でしたが、朝早くから開場を待つ保護者の方の姿が見られました。

四百名の保護者の方でホールが熱気にあふれる中、始めに川並知子総園長先生から集団生活での幼児の学びや教育の効果についてお話がありました。その後、年中児の歌と合奏で幕があきました。入園してちょうど五十日目という年少児の「りんごがドスーン」のリズムあそびでは、大きな声でセリフを言う園児や、観客の数に圧倒され立ちすくんでしまう園児の姿が見られました。年中児は「たろうのともだち」、年長児は「金のがちょう」のリズムあそびを披露しました。

一緒に踊る楽しさや見ていただく喜びを実感できました

発表会は静かな中にほほ笑みと温かい拍手に包まれ、園児はとてもうれしそうでした。

幼児教育は見えない教育であり、木の根っこに例えられることがあります。人間教育の基礎となる教育を将来に向け、園児一人ひとりが達成感や有能感を味わい、さまざまな活動に意欲的に取り組めるように保育していきたいと思います。

聖徳大学附属成田幼稚園
大盛況！聖徳子どもまつり

梅雨の合間に見せた太陽の下、六月二十二日（土）に附属成田幼稚園で、毎年恒例の「聖徳子どもまつり」が行われました。

この子どもまつりは、父母の会幹事の方を中心とした全園児の保護者の皆さまにご協力をいただき、手作り品・献品・お弁当やジュース等の販売、スーパーボールすくい等のゲームを行っています。

魚がつれたよ

幼稚園では、お化け屋敷やゲームコーナーを用意しました。また、園児のさまざまな作品をホールに飾り、日ごろの活動の一端を見ていただくとともに、雰囲気を盛り上げました。

保護者の方とうれしそうに登園してきた園児は、たくさんのお店が並び、いつもとは違った幼稚園の様子に驚きながらも、わくわくどきどきしながらゲームを楽しんだり、「お化け屋敷、怖かったね」「かわいいエプロン早く着たいな」等の会話を楽しみながら、お弁当やケーキをおいしくいただきました。

在園児だけでなく、卒園生や未就園児の方々が多数お越しくださり、たくさんの笑顔と歓声の中、大盛況のうちに終了しました。当日の売り上げは、幼児の教育環境を充実させるために役立たせていただいています。計画・準備から当日の運営・片付けまでしてくださった保護者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

聖徳大学附属浦安幼稚園
交通安全教室 ～チーバくんと一緒に～

六月二十五日（火）に年中児・年長児を対象とした「交通安全教室」を開催しました。これは、浦安市交通安全課が「幼児の交通事故ゼロを実現するため」に実施しているものです。

チーバくんに園児たちは大喜び

当日は、ホールに横断歩道、車用信号機と歩行者用信号機が設置され、いつもとは違った環境と交通安全協会の交通指導員の方の服装を見て、「あ！　おまわりさんがいるよ！」「信号もある！」と、園児たちは少し興奮気味でした。

始めに交通安全課の方からの「なぜ交通ルールを守るの？」という質問に、園児たちは「車にぶつかってケガをしちゃうから」と答えていましたが、「皆の一つしかない大切な命を守るためにある」という話に真剣に耳を傾けていました。その後、園児におなじみの映画「おじゃる丸の交通安全」を観て、実際に信号機の見方や渡り方について詳しく話を聞きました。

実際に園児たちが体験するその時、ホールの扉が開いて千葉県のキャラクター「チーバくん」が登場しました。チーバくんと一緒に「三歩下がって、右左右、手を挙げて渡ります」と言いながら渡る姿は真剣そのものです。

本園では、徒歩・自転車での通園をしているので、園児にとって交通ルールを守ることや、安全に行動できる習慣や態度を身につけることの大切さを学ぶよい機会となりました。

聖徳大学附属浦安幼稚園 同窓会 知水会
なつかしい笑顔がいっぱい

六月一日（土）、附属浦安幼稚園の同窓会「知水会」が開かれました。今年三月に卒業したばかりの小学一年生から六年生までの児童百八十四名が来園しました。

当日は、玄関のあちらこちらから歓声が上がり、同じクラスだった友達や懐かしい先生との再会を喜んでいました。

幼稚園ホールに卒園生たちが一堂に会しました。一年生は、表情もすっかりお兄さん・お姉さんとなり、卒園してわずか三カ月足らずですが成長を感じました。しかし、うれしさと興奮のあまり、ふざけてしまう姿は幼稚園のころのままでした。

人形劇の世界に引き込まれる卒園生

「園歌を歌いましょう」と声をかけると、照れくさそうに歌い始めましたが、みんなで声を合わせ、元気に歌えました。退職された先生方や現職の先生のお話を聞き、いよいよお待ちかねの聖徳大学短期大学部保育科の掃守純一郎准教授による人形劇を観ました。

その後、一年生は、クラスごとに分かれて懐かしい先生や友達に近況報告をして、卒園アルバムを受け取りました。二年生は、「椅子取りゲーム」、三年生以上は「なんでもバスケット」をしました。高学年になると身長も教員を追い越しますが、遊び始めると当時の面影が思い出されました。

これからも年に一度の知水会を大切にしていきたいと思います。

聖徳学園三田幼稚園

たなばた

　七月七日の七夕にちなみ、幼稚園でもクラスごと、笹に園児たち手作りの色とりどりの飾りをつけます。家でも飾れるようにと、笹飾りと短冊に願いを書いて持ち帰ります。学年ごとに織姫・彦星の飾りと三角つなぎ、輪飾り、貝飾りなど、年齢に合わせた技法で制作し、持ち帰ります。

　また、毎年幼稚園を代表して、年中児が浜松町にある「旧芝離宮恩賜庭園」へ幼稚園バスに乗って、自分たちの作った笹飾りを飾りに行きます。本物の笹のどこに飾ろうかと一人ひとりが考えて飾るのも、園児たちの楽しみの一つのようです。実際に飾った笹を見ながら、「綺麗だね」「お空から織姫や彦星も見えるかな?」など、園児の会話も弾みます。

本物の笹に願いをこめて

　都心ではなかなか本物の笹に飾りをつけるという経験ができないので、幼稚園でも実物を飾りながら、七夕の由来を伝えたり、歌を歌ったりしています。園児なりに伝統行事を理解し、学んでいけるよう、これからもさまざまな伝統を伝えていきたいと思います。

聖徳学園三田幼稚園 同窓会

なごみ会

　六月十五日（土）、晴天の中、楽しみにしていた二百人の卒園生が出席し「なごみ会」が開催されました。

　学園長、なごみ会会長のあいさつで会が始まり、皆で園歌を歌ったあと、今年は「聖徳学園三田幼稚園創立八十周年」の記念の年ということで、聖徳大学短期大学部保育科・掃守純一郎准教授の人形劇や手あそびなどがありました。

　低学年から高学年の児童たちまで一体となって真剣な表情で、大きな声で笑いながら見たりする姿がありました。その後は休息をかねて、皆でおやつの時間です。仲良しの友達だけでなく、久しぶりに会った友達や先生と近況報告をし、思い出話で盛り上がっていました。

　おやつの後は、児童たちが年長の時の発表会で行った、オペレッタのカードを使ったカードゲームをしました。自分のカードが当たった時の喜ぶ姿は、何歳になってもかわいいものでした。

　短い時間でも、幼稚園時代に戻って先生や友達と過ごせたことは、児童たちにとっていい思い出となったことでしょう。これからも年一回の「なごみ会」が児童たちの楽しみな日になるように計画をしていきたいと思います。

聖徳学園八王子中央幼稚園

園児たちの大好きな水遊び・プール遊び

　毎年七月・八月に園児たちの大好きな水遊び・プール遊びが行われます。色とりどりの水着に着替えてから、朝顔や京紙を使って色水遊びをしたり、ペットボトルや牛乳パックに穴を開けてシャワーにして水遊びを楽しみます。

　「先生、赤と青の色水を合わせたら、紫色になったよ！」と、さまざまな工夫と発見があり、目を丸くして驚いています。また、いつの間にか泥遊びに変わり、全身泥だらけになって砂とは違った感触に大喜びしている姿が見られます。

　プール遊びは、幼稚園ホール横のプールで楽しみます。園庭でラジオ体操やリズム遊びで体全体をほぐした後、プール遊びの始まりです。プールの中で「先生、見てて」と、泳いで見せたり、顔をプールにつけたりと、できるようになったことを自慢げに見せたりする園児もいます。水が苦手な園児には無理強いをせず、遊びながら水を怖がらないように足だけ入ったり、友達と手をつないで入ってみたりと、少しずつ水に慣れるように導いています。

夏の遊び第一位のプール遊び

　さらに、全員でプールの中を一方通行でマラソンをし、「流れるプール」を作って遊ぶなど毎年大盛り上がりです。暑い夏の暑さしのぎにもなり、全身遊びが体も心も成長させているように感じられます。

聖徳学園八王子中央幼稚園 同窓会

和香葉会（わかば）

みんな楽しく

　六月一日（土）に卒園生が集まる「わかば会」が開催されました。一年生から六年生まで百三十九名が集まりました。「先生!!」と駆け寄ってくる一年生や、「久しぶりだね」「○○くん来るかな?」と友達同士あいさつを交わし、楽しそうに話をする姿も見られました。高学年になると少し恥ずかしそうにしていましたが、六年生も八名も来てくれ、大きく成長した姿が見られました。懐かしい友達や先生を見つけると、とてもうれしそうでした。

ジャンケンで勝負

　会が始まると、歌を歌ったり、カードゲームやジャンケン列車、王様ジャンケン等、幼稚園のころ遊んだゲームを楽しみました。他学年が入り混じって、とても楽しい雰囲気でゲームをしていました。

　おやつの時間には、友達や先生と思い出話、学校の話に花が咲いていました。会終了後には、園庭を走り回ったり、一年生は久しぶりに三輪車に乗ってみたりととても楽しそうでした。

　短い時間でしたが、「来年も来ます！」「中学校に行っても来たいです」「次は、運動会に遊びに来ます」と言って帰っていきました。卒園生にとって、いつまでも幼稚園が大好きな場所になっていました。楽しかった幼稚園時代に戻る楽しいひとときになったようです。

聖徳学園多摩中央幼稚園

元気いっぱいの生活発表会

　六月二十八日（金）、入園・進級してから約三カ月、成長した姿を見ていただく「生活発表会」が行われました。園児たちは日々歌や踊り、合奏の練習をして本番を迎えました。当日は「どきどきするね」「今日はお父さんとお母さんが観に来るんだ」と、少し緊張しつつも始まるのを楽しみにしていました。

　初めに全園児で園歌と童謡「かわいい魚屋さん」を元気いっぱい歌い、その後、年中児・年少児で「アイスクリームの歌」を元気に楽しく歌うことができました。年長児は、初めてのサカホーンと合奏「錨をあげて」を演奏し、友達の音を聞きながら気持ちを合わせて行うことができました。

　遊戯では、各学年の発達が見え、初めて発表会に参加した年少児はそれぞれ大好きな動物になって喜んで「どきどきくまさん」のお話に参加し、年中児は「ゴリラのパン屋さん」のお話に親しみ、友達と一緒に楽しく踊ることができました。年長児は、「うらしまたろう」のお話を友達と一緒に役になりきり、イメージを広げながら場面にあった動きを表現することができました。どのプログラムも保護者の皆さまから温かい拍手をいただき、園児たちはうれしそうな表情をしていました。

ステージからあふれる園児のパワー

聖徳学園多摩中央幼稚園 同窓会

和香竹会（わかたけ）

パワー全開、同窓会

　六月二十二日（土）に多摩中央幼稚園の同窓会「和香竹会」が行われました。当日は前日までの台風も皆のパワーで吹き飛ばし、天気にも恵まれ、一年生から中学生まで計二百二十二名と、昨年度よりもたくさんの卒園生が参加し、とてもにぎやかな会になりました。

　久しぶりに会う友達や幼稚園の先生との再会に少し恥ずかしがりながらも終始笑顔が絶えず、昔話に花が咲いていました。第一部は、橋本素子同窓会会長のお話を聞き、懐かしい園歌を思い出しながら歌いました。久しぶりの園歌でしたが大きな声で歌う姿が見られました。

　第二部では、全員で楽しくゲームに参加しました。○×クイズは「ええ、わかんないよ」と言う声も聞こえてきましたが、正解すると大喜びしていました。ナンバーコールは、幼稚園時代からの親しみのあるゲームで、先生が言った人数を聞いて、近くの友達や他の学年の友達や先生たちと声を掛け合いながら指示された人数で集まり、白熱したゲームとなりました。王様ジャンケンでは、勝ち進んでいこうという意気込みが先生やお手伝いをしてくださった旧幹事のお母さま方にも伝わってきました。

ホールはゲームで熱気があふれていました

　ゲーム後のティータイムでは、お茶とお菓子をいただき、話に花が咲きました。一年に一度の会ですが、みんなで集まることのできる機会を存分に楽しみました。

学園祭　開催案内

学園祭 2013 インフォメーション

各校、各園でも学園祭が開催されます。特色を生かした楽しい催しものを計画しています。ぜひお出かけください。

■ 聖徳大学・聖徳大学短期大学部
第49回 聖徳祭　11月9日(土)・10日(日)　10:00～15:30　テーマ スマイル聖徳 Festa

■ 幼児教育専門学校
文化祭　11月3日(日)　10:00～14:30　テーマ 児童文化研究発表会

■ 附属女子中高
第31回 聖徳祭　9月29日(日)　9:00～14:00　テーマ「RESTART」

■ 取手聖徳女子中高
第31回 聖徳祭　9月22日(日)　9:00～14:00　テーマ It's a 聖徳 World ～私たちに会いにきて～

■ 附属小学校
第28回 聖徳祭　10月27日(日)　8:10～15:00　テーマ つみあげよう、ひろげよう ぼくたち・わたくしたちの校風と伝統を

■ 附属幼稚園・附属第二幼稚園・附属成田幼稚園・附属浦安幼稚園
大学・短大部 第49回 聖徳祭 ステージ発表（川並香順記念講堂）11月9日(土)　10:00～12:30

■ 三田幼稚園　聖徳にこにこまつり　11月3日(日)　10:00～14:30

■ 八王子中央幼稚園　聖徳にこにこまつり　10月27日(日)　10:00～14:00

■ 多摩中央幼稚園　聖徳にこにこまつり　10月20日(日)　10:00～14:00

特別展覧会／聖徳学園創立80周年記念「ちりめん本 長谷川武次郎コレクション」展

会期／好評開催中 ～12月21日(土)
9:00～17:00（休館日：毎日曜日・祝日と学事日程による休業日）
入場無料
会場／聖徳大学8号館1階ギャラリー

日本昔噺シリーズ

特別展覧会「利根山光人コレクション」展

会期／好評開催中 ～10月31日(木)
9:00～17:00（休館日：毎日曜日・祝日と学事日程による休業日）
入場無料
会場／聖徳大学8号館1階 利根山光人記念ギャラリー

「EL SOL（太陽）」1982年　油彩

平成25年度 大学・短期大学部／後援会・保護者会 開催日程

・9月1日(日)	10:30	静岡県支部総会・保護者会	静岡・ホテルアソシア静岡
・9月8日(日)	10:30	甲信地区支部総会・保護者会	甲府・ホテル談露館
・9月15日(日)	10:30	東北(南)支部総会・保護者会	郡山ビューホテルアネックス
・9月22日(日)	10:30	新潟地区支部総会・保護者会	ホテルニューオータニ長岡
・10月6日(日)	10:30	東北(北)支部総会・保護者会	盛岡・ホテルニューカリーナ
・10月27日(日)	10:30	九州・沖縄地区支部総会・保護者会	ホテル日航那覇グランドキャッスル
・11月3日(日)	10:30	東京地区・茨城県支部総会・保護者会(合同)	聖徳大学松戸キャンパス
・11月17日(日)	10:30	北関東支部総会・保護者会	大宮・JA共済埼玉ビル
・11月24日(日)	10:30	千葉県支部総会・保護者会	聖徳大学松戸キャンパス

大学院・大学・短期大学部 同窓会 平成25年度「香和会」支部パーティー 開催日程

支部名	日程	時間	場所
甲州・中部・東海支部	9月8日(日)	12:00～	ホテル談露館(甲府市)
北海道・東北支部	9月15日(日)	12:00～	郡山ビューホテルアネックス(郡山市)
北陸・上信越支部	9月22日(日)	12:30～	ニューオータニ長岡(長岡市)
九州・沖縄支部	10月27日(日)	13:00～	ホテル日航那覇グランドキャッスル(那覇市)
北関東支部	11月17日(日)	14:00～	銀座アスター　大宮賓館(さいたま市)
南関東支部	11月24日(日)	14:00～	聖徳大学松戸キャンパス(松戸市)
近畿・中国・四国支部	12月14日(土)	13:30～	ホテルグランヴィア大阪(大阪府)

※注：上記内容は予定であり、一部変更する場合がございます。
各支部パーティーの場所等詳細につきましては、準備が整い次第、郵送にてご案内いたします。
【お問い合わせ】 香和会事務室　Tel.047-366-5084（直通）

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。今後も内容の充実に努めてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

読者の声　ご意見・ご感想の宛て先

〈郵送〉〒271-8555　千葉県松戸市岩瀬550　東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
〈インターネット〉https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiawase/frmpub

インターネットを利用して皆さまの聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で学園オリジナルグッズをプレゼントしております。
〈アンケートURL〉http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073　東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)
聖徳フラッシュ　第67号
発行人／川並 弘純　編集／総務課
PRINTED WITH SOY INK　この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。
13.8.1 re (18,5)

音楽に強い小学校の先生なら聖徳大学音楽学部♪

聖徳大学音楽学部音楽総合学科の音楽教員養成コースでは、従来の「小学校二種」免許に加えて、新たに「小学校一種」免許の取得が可能になりました。音楽に優れていることは、小学校教員として大きな強みになります。

そんな本コースの魅力を知っていただくために、8月4日(日)のオープンキャンパスでは、「音教まつり」を開催します。《マイ バラード》の作詞作曲でおなじみの本コース、松井孝夫准教授による合唱体験授業、コース学生による合唱ステージ、教員による相談コーナーや展示などをご用意しています。合唱体験授業では、学生と一緒に歌っていただき、松井准教授の楽しいレッスンを体験しましょう。その前後には、大学生活のこと、就職準備のことなど、在学生にいろいろ聞いてみてください。

体験授業はお昼前後に2回、合唱ステージは12時40分から13時20分までの1回を予定しています。詳しいスケジュールは当日のパンフレットでご確認ください。

学校説明会関係行事のご案内

■ 聖徳大学（女子）・聖徳大学短期大学部（女子）　●お問い合わせ：入学センター 0120-66-5531

来て、見て、実感！ オープンキャンパス　聖徳大学松戸キャンパス
▶8月4日[日] 10:30～16:00☆★
▶8月17日[土] 10:30～16:00☆★
▶9月8日[日] 10:30～16:00★
▶10月13日[日] 13:00～16:00
☆は短大AO入試エントリー対象講座あり
★は学食無料体験あり

● 全国で実施！ 進学相談会　※は本学主催
「なかなかキャンパスに足を運べない」という方、ぜひ各地で開催している進学相談会にお越しください。

■ 首都圏　▶11月3日[日] 10:30～16:00　▶11月24日[日] 10:30～16:00　松戸※ 聖徳大学松戸キャンパス　▶11月17日[日] 10:30～16:00　さいたま※ JA共済埼玉ビル
■ 東北　▶9月5日[木] 15:30～18:30 秋田 アルヴェ　▶10月6日[日] 10:30～16:00 盛岡※ ホテルニューカリーナ　▶9月15日[日] 10:30～16:00 郡山※ 郡山ビューホテルアネックス
■ 関東　▶9月10日[火] 14:30～18:00 水戸 水戸プラザホテル　▶9月11日[水] 14:30～18:00 宇都宮 マロニエプラザ
■ 甲信越　▶9月8日[日] 10:30～16:00 甲府※ 談露館　▶9月22日[日] 10:30～16:00 長岡※ ホテルニューオータニ長岡
■ 東海　▶9月1日[日] 10:30～16:00 静岡※ ホテルアソシア静岡
■ 沖縄　▶10月27日[日] 10:30～16:00 那覇※ ホテル日航那覇グランドキャッスル

■ 聖徳大学幼児教育専門学校(女子)　●お問い合わせ：03-5476-8811(代)
昼のオープンキャンパス　▶8月8日[木] 13:00～15:00　▶8月24日[土] 10:00～12:00　▶9月21日[土] 10:00～12:00
夜のオープンキャンパス　▶9月18日[水] 20:00～21:30

■ 聖徳大学附属女子中学校・高等学校　●お問い合わせ：047-392-8111(代)
オープンスクール　▶8月24日[土] 9:30～
進学相談会　▶9月7日[土]・9月29日[日] 9:30～ ※聖徳祭併催
学校説明会　▶9月15日[日] 9:30～

■ 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校　●お問い合わせ：0297-83-8111(代)
4ページに オープンスクール 情報掲載！

■ 聖徳大学附属小学校(共学)　●お問い合わせ：047-392-3111(代)
わくわくオープンスクール　▶8月25日[日] 9:15～12:20
学校説明会　▶9月7日[土]・9月21日[土]・11月16日[土]
【授業見学（自由見学）】9:00～11:20（受付／8:30～）
【学校説明】10:00～10:40
【入試説明】10:50～11:20
【会食体験（希望者）】11:30～12:00　12:00～ 解散〈希望者個別相談あり〉

■ 聖徳大学附属幼稚園　●お問い合わせ047-368-6135(代)
見学会 ▶9月13日[金]　運動会 ▶10月5日[土]　説明会 ▶10月15日[火]

■ 聖徳大学附属第二幼稚園　●お問い合わせ047-341-6598(代)
見学会 ▶9月14日[土]　運動会 ▶9月29日[日]　説明会 ▶10月11日[金]

■ 聖徳大学附属成田幼稚園　●お問い合わせ0476-26-3371(代)
見学会 ▶9月6日[金]　運動会 ▶9月22日[日]　説明会 ▶10月12日[土]

■ 聖徳大学附属浦安幼稚園　●お問い合わせ047-721-8181(代)
見学会 ▶9月7日[土]　運動会 ▶10月6日[日]　説明会 ▶10月10日[木]

■ 聖徳学園三田幼稚園　●お問い合わせ：03-5476-8811(代)
見学会 ▶9月18日[水]　運動会 ▶9月29日[日]　説明会 ▶10月4日[金]

■ 聖徳学園八王子中央幼稚園　●お問い合わせ：042-664-0972(代)
見学会 ▶9月24日[火]　運動会 ▶10月5日[土]　説明会 ▶10月15日[火]

■ 聖徳学園多摩中央幼稚園　●お問い合わせ：042-676-0777(代)
見学会 ▶9月13日[金]　運動会 ▶9月22日[日]　説明会 ▶10月16日[水]

※詳細につきましては、お問い合わせください。

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート かすがの森　長野県佐久市春日2258-1

まだ間に合う!! 夏休みの宿泊予約
☆レイトサマープラン☆
期間限定のレイトサマープランがあります。(特典付き)
8月19日(月)～8月31日(土)のご宿泊限定
農作業体験や散策路、馬事公苑もあり、様々な自然体験をご用意しております。
ホームページでもご確認いただけます。http://www.kasuganomori.com

ご予約はお電話にて　電話：0267-52-2111